

第 92 回 JPA サロン議事録

H25. 9. 29 於：いこいの村瀬沼

1. 議題及び事務連絡

1) スパリゾートハワイアンズらん展の開催が決定

開催期間：11月16日(土)～11月24日(日)・・・JPA例会(11月24日(日)同会場にて)

搬入日：11月15(金) 15:00まで 16:00より審査

搬入ルート：直接持ち込めない方は根岸園芸さん、和田さん(14日までに届ける)

*10月の例会で再度詳細連絡 *JPAの参加賞あり

2) 全日本蘭協会の晴海トリトン秋の洋らん展に出展協力(30株を予定)

開催期間：11月1日(金)～11月4日(月・祝)

開催場所：晴海トリトンスクエア

搬入日：10月31日(木) 13:30～15:30 審査16:00より

*車の方は1階車寄せロビーからエレベーターまたは階段で2階グランドロビー

搬入ルート：直接持ち込めない方は和田さんルート(30日までに届ける)

搬出日：11月4日(月・祝) 15:00～17:00

*JPAの参加賞あり

3) オーキッドフリーマーケット2013について

開催期間：12月20日(金)～12月22日(日)・・・JPA例会(12月22日(日)同会場にて)

開催場所：科学技術館

*JPAの名前を使って希望者による参加とする。

*出店費用は参加者による負担。

*売上からブース代金を差し引いた利益の10%をJPAに支払う。

*JPA例会開始時間を通常より遅らせて11時とし、フリーマーケットの参加協力を行う。

*今回、望月さんが事務局ですので問い合わせはよろしく。

4) 台湾パフィオペディウム協会(TPS)蘭展(パフィオペディウムのみ)が12月第3週の土日に台北で開催。

5) 3月には台湾で国際蘭展(TPS)、5月にはタイのバンコックでタイパフィオペディウム協会主催の蘭展(パフィオペディウムのみ)が開催され、後者では3ヶ国合同例会が実施されます。次会以降に詳細報告。

2. 例会報告

1) 新種の報告について

- ・ フランスより新種 *Paph. robinsonianum* の記載をした。
- ・ Olaf Gruss 氏による新種の記載があった。

Paph. papuanum forma *alexejanum*, *Paph. xschlechterianum*(*callosum* x *wardii*) など

- ・ 中国で *Paph. canhii* var. *funingense* が見つかった。ミャンマーのカンヒアイに比較しグリーンの色彩を帯びる。

2) ドイツの DOG、2012 年入賞花の一部のパフィオの紹介を行う。

3) 植え込み材料について

- ・ スゴイネは馴染めば生育がよい。
- ・ スゴイネは水につけて膨張させ、ガチガチとならないようにフワフワに植え込む。石を混ぜても OK(前年の議事録では、はじめから膨張させないでと記録しておりまして、定まりませんが、ガチガチとするのは良くないのが一致した意見でした。)
- ・ 鹿沼土植えとらんソイル植えのその後について次会以降討論したい。

4) 軟腐病について討論

- ・ 患部を切り取るのが一番手っ取り早い。
- ・ 同じような症状にバクテリアとカビに原因とするものがあるが、カビに抗生物質は効かない。

5) ペルーフローラのビクトリア氏によると B-1 (ビーワン) はフラグミ・コバチの苗を育てるのに良いらしい。(日本での報告はまだない)

6) 人気投票結果 (入賞花の写真はサロンの様子、展示パフィオの紹介コーナーへ)

1位 Paph. Old Mountaim (古山勝己)

ご自身による交配((ロシヤイルデアナム×ウェンツァンエ)×リュウコキラム B.M)の登録で、2本しかとれなかった苗を、3年足らずで枯らさずに2株とも咲かせてしまうのが、古山さんのすごいところ。これは黄褐色味を帯び、ブラキ系のペタルを少し長くしたようで、コンパクトにしっかり2輪付いています。やはりご自身の登録で、似たような花の *Paph. Yuki ko Furuyama* は白っぽい感じの花です。

2位 Paph. Dragon tail (和田洋)

多花性は3株展示されましたが、すべて和田さんです。これはスバルディとサンデリアナムの交配でスバルディのペタルを長くしたようで、かつその大きなねじれがアクセントとなっています。3本立ちで、1花茎4輪ずつ付いて見事です。バイオパーク植えて4年ぐらいたっているようですが、株がモリモリとよく出来ていました。

3位 Paph. Ma Bell 'Maki' (田中利典)

マリポエンセとペラチュラムの交配ですが、個体差の大きく出る交配です。2株出品され

ましたが、こちらはマリポのグリーンが濃く、かつペラの茶色の細い筋が入った良個体で、一方はややぼけたような感じでした。2株とも台湾の有名蘭園で入手されたようです。

3位 Paph. wenshanense (清水照夫)

黄色のウェンシャンエン池と言え、清水さんの大株を思い浮かべる方が多いと思いますが、これは別の関西有名蘭園からの入手のようです。昨年、清水さんは温室内温室を作られ、ブラキ系は20度で冬越しされたそうです。その関係か開花時期は例年よりずれましたが、温度を高め設定できたことで生育がよく、ドーサルもいつもよりよく張って大きく開花したようです。黄色系のウェンシャンエン池はやはり白よりも目立っていいですね。

5位 Paph. charlesworthii (和田洋)

和田さん、本日2度目の登場です。久々に良いチャールスワージーを見せていただきました。しかも、株も良くできていて、葉は厚く幅広で固くモリモリの株です。やはりバイオバーク植えのようです。花は色濃く、ペタル幅もあって、これで花茎が長かったら只者ではありません。兄弟株がJOGAでAMに入賞しています。望月蘭園さんのフラスコから出ました。

6位 Paph. charlesworthii fma. alubum (亀井隆)

入手経路は不明のようですが、ドーサルの先端にねじれが少しあるものの反りは見られず、全体にはフラットで、ドーサルの白とペタルのグリーンはとても綺麗です。ところで、チャールスワージーは水がとてもすきなようで、じゃぶじゃぶもOKのようです。私も腰水併用で試してみることにしました。

入賞者のみなさん、おめでとうございます。

以上 (記録：秋元政人)